



お正月

もういくつねるとお正月
お正月には 凧あげて
こまをまわして 遊びましょう
はやくこいこいお正月
もういくつねるとお正月
お正月には まりついて
おいばねついて 遊びましょう
はやくこいこいお正月

瀧廉太郎作のこの歌。明治時代に作られた歌です。
さあ、お正月だということで「こま」や「たこ」「まり」
などで楽しそうに遊んでいる子どもが思い浮かびます。
今はどうでしょう？

第70号
(発行所)
真宗大谷派
松岡山廣讚寺
中村区城屋敷町3-30
TEL (052) 411-5301
FAX (052) 411-5341
携帯 090-1568-4623
<E-mail>
matsuoka@kosanji.or.jp



廣讚寺年間行事予定

1月

1日 10時 修正会

3月

21日 10時 彼岸永代経

(午前、勤行・法話・お齋)

(午後、勤行・法話)

22日 15時 彼岸勤行・法話

23日 15時 彼岸勤行・法話

24日 10時 女人講・報恩講

(勤行・法話・お齋)

28日 10時 二十八日講總會

(勤行・法話・お齋)

4月

19日頃 同朋会旅行

28日 10時 おみがき

5月

5日 10時 復興永代経

(午前、勤行・法話・お齋)

(午後、勤行・法話)



7月

19日頃 18時 納涼大会

(勤行後、屋台、人形劇、

ビンゴゲームなど)

9月

13日 8時 境内大掃除 (掃除後お齋)

23日 10時 彼岸永代経

(午前、勤行・法話・お齋)

(午後、勤行・法話)

24日 15時 彼岸勤行・法話

25日 15時 彼岸勤行・法話

26日 15時 彼岸勤行・法話

28日 10時 二十八日講總會

(勤行・法話・お齋)

11月

28日 10時 おみがき

12月

4日 9時 報恩講準備 (お齋後勤行)

5日 10時 報恩講

(午前、勤行・法話・お齋)

(午後、勤行・御伝紗拝聴)



毎月の行事

6日 12時 報恩講

(午前、勤行・法話・お齋)

(午後、勤行・法話・演芸会)

31日 23時半～1時 初鐘

第2土曜

19時30分 同朋会

(月によって時間が
かわる場合あり)

19日 14時 学習会



歎異抄の法話から

四季乃富二

錦秋の好日に真照寺で高山崇氏の法話を聞く。廣讚寺からも多くの方々が参られた。高山先生の『歎異抄に学ぶ』の第六回目の法話であった。

親鸞聖人は亡き父母の追善供養のために念仏は一度も持たずと云う文章を確認した。念仏して亡き父母が助かるはずがないのだ。また、弟子一人もまたぬと申されるが私たちは師を持っているではないか。これをまとめると物事には全部、表と裏があるのだということとを論された。

わずか三章の内容を幼少からの体験・経験を通し二時間で聖人の考えを伝えてくださったので歎異抄を身近に感じるようになったと思う。最後に人間は迷う動物と云って引用された文章をお伝えいたします。

人間は、もつとも出来損ないの動物、もつとも病的な動物。自分の本能からもつとも危険なほど足を踏みはずしてしまった動物である。

なかなか含蓄のある言葉ですね。歎異抄を学ぶのではなく、歎異抄に学ぶ高山先生の法話を聞く場をいただき感謝しております。



行事予定

一月一日(祝) 十時 修正会

十日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(月) 二時～四時 学習会

二十八日(水) 十時 二十八日講・女人講

二月十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(木) 二時～四時 学習会

二十八日(土) 十時 二十八日講・女人講

【20組行事】

ご命日の集い

法話・新年懇親会

一月二十四日(土) 午後四時～七時

会場 なごや花亭 美よし

講師 伊藤 耕先生

参加費 四〇〇〇円(当日集金)

※参加希望の方は寺まで